

予報期間 9月20日から9月26日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 台風第25号については最新の台風予報を参照。
- 22日から23日にかけて、高気圧が朝鮮半島付近から日本の東に移動する。
- 24日から25日にかけて、高気圧が日本海へ移動する。
- 26日は、気圧の尾根が日本のはるか東から日本海にのびる。

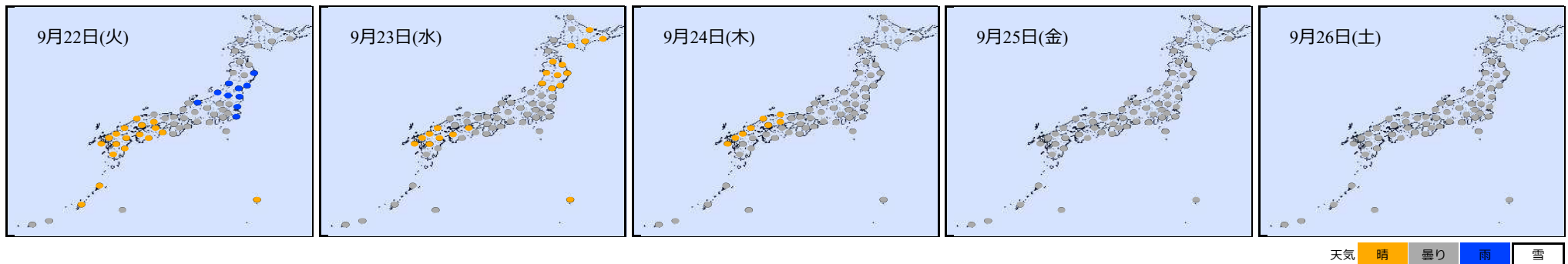
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 台風第25号の影響で、北日本と東日本では22日にかけて大しけとなる所があり、台風の進路等によっては大荒れや警報級の大雨となる所がある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

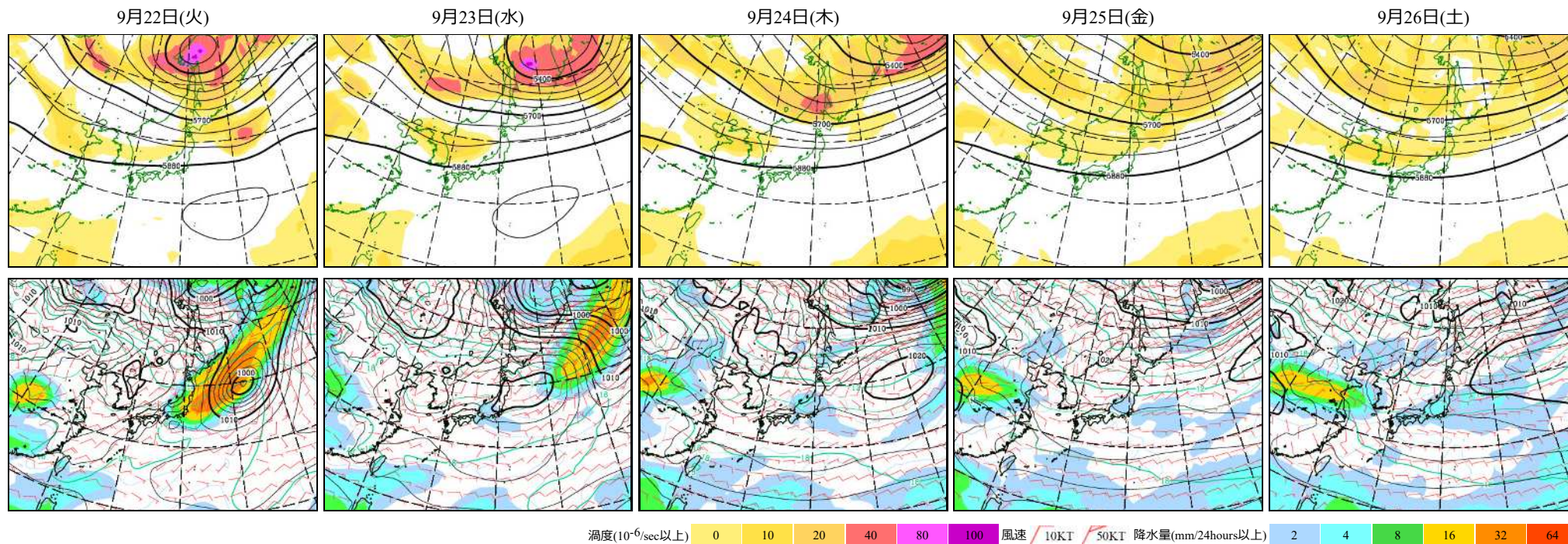
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

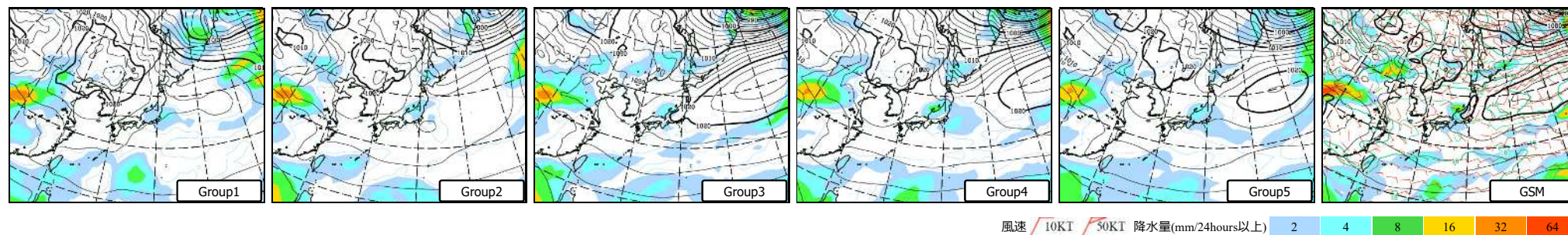


- 北日本は、曇りや雨の降る日が多いが、23日は晴れる所がある。
- 東日本は、雲が広がりやすく、22日は雨の降る所がある。
- 西日本は、曇りや晴れの日が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすいが、22日は晴れる所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆9月24日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、23日から24日にかけてオホーツク海から千島の東に進むトラフが不明瞭になり、北日本付近を通過する高気圧の東への移動が早まった。25日は北日本付近の気圧の谷が浅くなった。
- 23日頃に北日本付近を高気圧が移動することはモデル間で予想が揃っているが、その次の25日から26日頃に北日本付近を移動する高気圧の位置や強さにはモデル間の差がある。
- 降水確率ガイダンスの値は、22日は北日本で大きくなった。
- スプレッドは期間を通して小さく、特定高度線のばらつきも小さい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。